研 修 部 会　活 動 計 画

1　活動の重点

新学習指導要領等への対応を喫緊の課題ととらえ，地域の信頼を得る創造的な学校経営を展開するために，校長会研究集会を開催して研修を深める。また，教育課程，生徒指導，同和教育の３委員会を設け，調査研究活動や研修活動に取り組み，校長の資質・指導力の向上を図る。

2　活動の概要

(1) 校長会研究集会

ア　研究集会主題と設定の趣旨

県小学校長会研究集会の主題については，基本的には全国連合小学校長会の研究主題を受けて，当県における学校教育の課題を踏まえて設定してきている。

> 全連小研究主題（H25～H31）
> 新たな知を拓き　人間性豊かな社会を築く　日本人の育成を目指す小学校教育の推進

> 県小学校長会研究集会主題(H29～H31)
> 未来を生き抜く知を磨き　絆を強め　学び続ける子どもを育てる学校経営
> －新学習指導要領への対応を中心に－

イ　研究集会の趣旨

県小学校長会は，全国連合小学校長会の研究主題「新たな知を拓き 人間性豊かな社会を築く 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」を受け，県小学校長会研究集会の主題を設定し，研究協議を重ねてきた。その推進に当たってはこれまでの研究集会の成果を踏まえつつ，激しい変動が予想される社会において，子どもが将来直面する困難な諸課題に自ら立ち向かい，乗り越えようとする力を育成する小学校教育を進めることに努めてきた。

今日，知識基盤社会化，グローバル化，情報化が一層進展し，それにより競争が激化し，我が国を取り巻く危機的状況が広がってきている。東日本大震災からの復興という国民的課題をはじめ，少子化や高齢化の進展，雇用環境の変化など，日本社会は多岐にわたる課題に直面している。先行きの不透明感や閉塞感が強まり，人間関係の希薄化が進む中で，人と人との絆の大切さが改めて見直されている。

こうした激動の時代の中，希望を抱き，困難な諸課題に立ち向かう気力と知恵をもって，異なる価値観をもつ多様な人々と共に協力・協働しながら，粘り強く問題解決に立ち向かう子どもの育成を願い，本主題を設定した。

変化する時代の潮流や未来への課題を踏まえ，夢と志をもち，互いに磨き合い，様々な分野で豊かで創造的な知性を発揮し，主体的に未来を生き抜く力を身に付けた子どもを育てることが必要である。

また，人間性豊かな社会を築くためには，多様性を認め合い，他と協働し，共に支え合う人間関係をつくり，自制を伴った「開かれた個」を育てることが求められる。

さらに，よりよい社会の在り方を考えることができる日本人を育成するためには，課題解決に向けて自立的に行動し，絶えず自分や社会を見つめながら生涯にわたって主体的に学び続け，自己実現を図る子どもを育てることが求められる。

このような子どもを育てることができる意欲と力量をもった教師がいる学校の実現は，校長のビジ

ョンと経営力によるところが大きい。時代の大きな変化を踏まえ，新しい時代に主体的に生き抜く子どもの育成という観点から，校長は新たな視点をもって創造性豊かな学校経営を推進していかなければならない。

そのために，校長が鋭い先見性と豊かな創造性をもち，学校の実態に即した適切な教育課程の編成・実施・評価・改善が不可欠であり，実践を通して，その成果を具体的な子どもの姿で示すことで，地域や保護者の信頼を得るようにしなければならない。校長は、自らの使命を自覚し，リーダーシップを発揮して教職員の指導力を高め，活力溢れる学校づくりを進めるなど，組織の総力を挙げて教育課題解決に向けて努力していく。

平成30～31年度は，新学習指導要領の全面実施（平成32年度）に向けての先行実施期間となることから，いずれの学校においても「社会に開かれた教育課程」を適切に編成することが最重要課題となる。そのために，本研究集会では，「新学習指導要領に即応した研修」に校長自らが取り組み，全ての学校において万全の準備ができるように，具体的に協議し合うことを目指し，副題「新学習指導要領への対応を中心に」を設定した。各校長は，ここでの協議を生かし，創意と活力に満ちた特色ある学校の創造に向けて，計画的に実践を重ねていくことが重要である。

ウ　基本方針

（ア）外国語活動，外国語科の実施に向けた各自の実践を持ち寄り，討議し合う。その際，校長として「学校経営」の視点を明確にした内容となるようにする。

（イ）分科会は，必要に応じて分散会を設け，少人数での協議ができるようにする。

（ウ）分科会では，参加者の発表を受けて，話合いの柱を決定し，情報交換や協議を進めるなど，運営を工夫する。

エ　分科会の構成

【第１分科会】　外国語活動，外国語科の指導体制の充実（組織マネジメントの視点で）

【第２分科会】　外国語活動，外国語科の指導計画の改善（カリキュラム・マネジメントの視点で）

【第３分科会】　外国語活動，外国語科の指導方法・評価等の工夫・改善（授業づくりの視点で）

＊全員が「校長が主語」のレポート（Ａ４用紙１枚）にまとめ持参する。

＊「第67回関東甲信越地区小学校長研究協議会新潟大会プレ大会」を参考にして，およそ18分散会を設けて，各郡市及び政令指定都市小学校長会が提案，司会，記録を担当し，運営責任者は長岡市三島郡校長会とする。

オ　期日・会場

○　新潟県小学校長会研究集会長岡・三島大会

期日：平成30年10月16日(火)　全体会（開会式・講演会）　分科会・分散会（協議会）

会場：長岡リリックホール（全体会）　ハイブ長岡（分科会・分散会）

〔参考〕研究集会の開催地域について　平成24年９月１日県小本部会決定

	〔上越〕	〔中越〕	〔下越〕
29年度	上越	十日町・中魚	村上・岩船
30年度		{全県} 長岡・三島	
31年度	柏崎・刈羽	三条	佐渡
32年度	糸魚川	南魚沼郡市	五泉・阿賀野・東蒲
33年度		{全県} 上越	
34年度	妙高	燕・西蒲	新発田・北蒲・胎内
35年度	上越	加茂・南蒲・見附	佐渡
36年度		{全県プレ} 新潟	
37年度		{全県関ブロ} 新潟	

※　政令指定都市研究協議会新潟大会（平成34年度）

カ　その他

関プロ大会及び全連合小大会での発表等要請に対しては，従前の慣例に従い発表者を決定し，発表者が所属する郡市小学校長会及び政令指定都市小学校長会が責任をもって支援し発表に臨む。

(2) 第70回関東甲信越地区校長研究協議会長野大会への参加

ア　研究主題　「新たな知を拓き 人間性豊かな社会を築く 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」
　　副主題　「地域の自然・文化・人々の生き方に学び 豊かな発想力・創造性や人間性を身に付け自ら未来社会を拓いていく子どもの育成」

イ　期　日　平成30年６月７日(木)～８日(金)

ウ　会　場　長野市芸術館　他

エ　参加者　新潟県から47名　各郡市・政令指定都市校長会へ割り当てる。

(3) 第70回全国連合小学校長会研究協議会北海道大会への参加

ア　研究主題　「新たな知を拓き 人間性豊かな社会を築く 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」
　　副主題　「ふるさとの地から世界を見つめ 新しい社会の形成に向けて挑戦する子どもを育てる学校経営の推進」

イ　期　日　平成30年10月４日(木)～10月５日(金)

ウ　会　場　函館アリーナ　他

エ　参加者　新潟県から47名　各郡市・政令指定都市校長会へ割り当てる

(4) 委員会活動

教育課程委員会，生徒指導委員会，同和教育委員会の３委員会による調査研究活動の実施と関係諸会合への参加・研修活動を行う。なお，教育課程委員会・生徒指導委員会については，新潟市校長会独自の調査研究活動も視野に入れる。

ア　教育課程委員会

教育課程の実施状況や教育課程にかかわる諸問題について調査研究を行う。アンケート及び聞き取り調査等から「新たな知を拓き 人間性豊かな社会を築く 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」の実情を探り，各校の教育課程の改善・充実のための資料とする。

イ　生徒指導委員会

生徒指導に関する実情について調査研究を行う。これまで，いじめや不登校，問題行動等の解消や未然防止を目指した「社会性の育成」をテーマとして，児童の実態や地域の実情に応じた創意ある取組について，広く調査研究を進めてきている。本年度もそれを継承する。「いじめ見逃しゼロ県民運動」の一環ととらえて，重点的に取り組んでいく。

ウ　同和教育委員会

新潟県同和教育研究協議会の各種委員の選出及び諸会議への出席，各種研究集会への参加態勢の確立などを通して，同和教育推進の活動を行う。また，新潟県同和教育研究集会，部落解放新潟県研究集会，「いのち・愛・人権」展等，同和教育にかかわる各種大会に参加して研修を進める。

(5) 全県研修部会の開催

ア　第１回　期　日　平成30年５月９日(水)
　　会　場　小出郷文化会館
　　内　容　平成30年度研修部活動計画の概要決定

イ　第２回　期　日　平成30年11月８日(木)13:30～16:30（予定）
　　会　場　じょいあす新潟会館（カトレア）
　　内　容　研修部の活動のまとめ